

輸血拒否の対応について

Clinical Policy to Refusal Blood Transfusion

～宗教上の理由による輸血拒否に対する当院の対応～

当院では、以下の基本方針に従って、宗教上の理由による輸血拒否の場合に対応いたします。
ご理解ご協力をお願い申し上げます。

- ・輸血を行う可能性がない検査と治療に関しては、すべての患者さんにとって最善の診療を提供できるようにいたします。
- ・輸血を必要とする出血を伴う処置、手術、分娩については病状によって輸血療法を行います。
- ・輸血療法を行わないことで生命の危機に陥る場合には、患者さん、およびご家族に病状説明を行い、輸血の同意が得られる様に最善を尽くします。
- ・輸血の同意が得られず、絶対的無輸血での処置、治療を希望される場合には、当院での治療は行えないことを説明いたします。
- ・絶対的無輸血に制約する免責証明書等には署名・捺印は行いません。